事務事業名		安全管理事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	03:安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	08:消防・救急・救助体制の充実								
	基本事業名	02:消防体制の充実								
所属	根拠法令			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成17 年度~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	01	09	01	02	02	
	部課名	大船渡地区消防組合 大船渡消防署								
	係名	大船渡消防署警防係	電話							27-2119
			内線	34						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 現在社会問題となっている肺癌やガンの一種である胸膜・腹膜等の中皮腫は石綿粉じんを吸入したことが主な原因と考えられています。そのため消防活動時の消防団員の安全確保を図るため分団各部に消防のための装備品を配布する事業です。主な業務は必要装備品の検討、見積依頼、契約、納品、装備品及び取扱い説明資料の配付で、事業費は装備品の購入費として支出される。					全体計画(期間限定複数年度のみ)					
総投入量 (千円)					事業費	国庫支出金				
						都道府県支出金				
						地方債				
						その他				
						一般財源				
					事業費計(A)		0			
					人件費	正規職員従事人数				
						延べ業務時間				
						人件費計(B)		0		
					トータルコスト(A)+(B)		0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 石綿防塵マスクを消防団全車両(60台)に1個ずつ配備することにより各車両の数量を4個とした。また、交換用フィルターは90個備蓄した。		名称 ア 装備品配布個数(各分団2ヶ)	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 昨年度と同様に石綿防塵マスクを各車両にさらに1個ずつ配備する。		単位 個	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 大船渡市消防団員		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 各種災害時の消防団員の安全を確保した活動ができる。		名称 カ 大船渡市消防団員	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 出火時に的確な消防活動ができる。		単位 人	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称 サ 大船渡市消防団員	
		単位 個	
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,073	450	402	402	183	198
	事業費計(A)		千円	1,073	450	402	402	183	198
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	360	360	360	360	360	360
		人件費計(B)	千円	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,513	1,890	1,842	1,842	1,623
活動指標		ア	個	180	90	60	60	60	
		イ							
		ウ							
対象指標		カ	人	1,097	1,087	1,063	1,088	1,049	1,029
		キ							
		ク							
成果指標		サ	個	180	90	60	60	26	26
		シ							
		ス							

事務事業ID	1093	事務事業名	安全管理事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成17年8月岩手県総務部総合防災室から、消防団員が災害現場において石綿に対する安全対策をとるよう通知された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署では、石綿障害予防規則を制定し平成17年7月1日に施行している。この規則では石綿を使用している建物等の解体作業等に従事する作業員のばく露防止が義務付けられる等、石綿による健康被害がいかに深刻なものか理解できます。このことから火災現場等で活動する消防団員の石綿粉じんによる健康被害防止のため、よりいっそうの装備の充実を図らなければなりません。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成17年に購入した石綿防塵マスクは分団各部の車両に3人分、平成18年度には1人分が支給されたが、最低でも10人分の石綿防塵マスクが必要なことから、早急に支給を要望されている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] ↘ 安全管理事業であり、消防団員の安全確保につながることで的確な災害対応ができる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] ↘ 市町村は当該市町村の区域における消防を十分に果たすべき責任を有することから公共関与は妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] ↘ 大船渡市消防団員が対象であることから適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] ↘ 消防活動を行う消防団員の安全確保のための事業であるが数量が団員数に対して不足している。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] ↘ 消防活動に携わる消防団員の石綿による健康被害が懸念される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 火災現場等で使用するものであり、この事業以外に方法はなく、類似事業等もない。 ☒ 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ↘ 石綿防塵マスクの中でも廉価なものを選定し支給しているためこれ以上削減できない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ↘ 市の予算執行のための正職員1名が担当しており、配布は各分団部で受領しており、これ以上の削減の余地がない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] ↘ 消防活動で使用するものであり、その費用の負担は公費によるものが適切である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>平成17年度に初めて分団各部に3名分の石綿防塵マスクを配布することができたことは、大船渡市が消防団員の安全と健康に対する関心の高さを感じた。平成18年でも継続して補充していることから、早期に配備予定数の10個支給を目指したい。</p>									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p>☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>本事業に対する予算の増額</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	大船渡消防署長
-------	---------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p>☐ 記述不足でわかりにくい</p> <p>☐ 一部記述不足のところがある</p> <p>☒ 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p>☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p>☐ 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p>☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>安全管理の重要性を十分理解している。適切な事務執行がなされている。</p>									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p>☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>災害現場で活動する消防団の安全の確保を図ることは重要なことである。現状どおり継続して事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>